

令和6年度

菰野町教育委員会

事務事業点検及び評価報告書

令和7年8月

菰野町教育委員会

目 次

I	令和6年度点検及び評価実施方針	1
	1 趣旨	
	2 点検及び評価の対象	
	3 点検及び評価の方法	
II	教育委員会の運営状況	
	1 教育委員会	2
	2 令和6年度菟野町教育方針	4
	3 事務局体制	4
III	事務事業の執行状況	
	1 学校教育	
	(1) 確かな学力を育む教育の推進	5
	①主体的・対話的で深い学びの実現	5
	②特別支援教育の充実	6
	③グローバル教育の推進	6
	④ICTを活用した授業の充実	7
	⑤キャリア教育の推進	7
	⑥幼児教育の充実	7
	(2) 豊かな人間性を育む教育の推進	8
	①人権教育・道徳教育の充実	8
	②安心して学べる学校づくり	8
	③読書活動の充実	9
	④郷土教育の推進	10
	(3) 健やかな体を育む教育の推進	10
	①健康教育の充実	10
	②体力の向上	10
	③食育の推進	10
	(4) 信頼される学校づくり	11
	①地域とともにある学校づくりの推進	11
	②教職員の資質向上とコンプライアンスの推進	11
	③学校における働き方改革の推進	12
	④子どもたちの安全・安心の確保	12
	2 社会教育	16
	(5) 地域全体で取り組む家庭教育と青少年健全育成の充実	16
	①家庭の教育力の向上	16
	②地域における青少年活動の推進	16
	③現代社会を生き抜く青少年の健全育成	16
	(6) 活力ある地域社会の構築に向けた生涯学習の推進	17
	①生涯学習推進体制の確立	17
	②公民館機能の充実	19
	③図書館サービスの充実	21
IV	評価者の意見	28

I 令和6年度点検及び評価実施方針

1 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくため、菰野町教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検及び評価」）を実施する。

2 点検及び評価の対象

令和6年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況のうち、令和6年4月1日から令和7年3月31日までに実施したものとする。

3 点検及び評価の方法

(1) 自己点検評価

菰野町総合計画を踏まえた菰野町教育大綱、菰野町教育振興基本計画及び令和6年度菰野町教育方針に基づき、令和6年度の教育委員会の運営状況、事務事業の執行状況について点検及び評価を行う。

(2) 学識経験者等の知見の活用

菰野町の教育に関して知見を有する次に掲げる者から、教育委員会の自己点検評価結果に対する意見を聴き、本書に記載する。

(知見者)

氏 名	職業（前職含む）
小 林 浩 司	建設会社社長
伊 達 恭 子	元小学校長

(3) 議会への報告

点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに町ホームページへの掲載等により公表する。

II 教育委員会の運営状況

1 教育委員会

教育委員会では、教育長と4名の教育委員により委員会を開催し、規則等の制定や生徒指導事案など重要な案件を審議した。また、研修会への参加や、視察研修を実施するなど、委員の資質向上に努めるとともに、学校訪問を実施し、学校運営の状況などについて現地で説明を受け、指導及び助言を行った。更に総合教育会議において、教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育の振興を図るため、重点的に講ずべき施策についての協議を行った。

(1) 委員構成

役職名	氏名	住所	任期
教育長	北口 幸弘	菰野	平成31年4月1日就任 令和7年9月30日まで
教育長職務代理者	水谷 裕康	竹成	令和2年10月1日就任 令和10年9月30日まで
委員	岡島 由香里	田光	平成21年10月1日就任 令和7年9月30日まで
委員	石倉 雅孔	大羽根園	平成30年10月1日就任 令和8年9月30日まで
委員	佐藤 久美	吉澤	令和5年10月1日就任 令和9年9月30日まで

(2) 教育委員会の開催状況

開催数： 定例会 11回

(3) 委員研修状況

実施日	研修先	研修場所	研修内容
8月9日	松阪市	松阪市 嬉野生涯学習センター	講演会 「地域課題解決型の探究活動を通して」
11月7日	津市	三重県総合文化センター	三重の教育談義 「学校教育におけるウェルビーイング」
1月21日	四日市市	四日市市学校給食センター	学校給食における施設 及び調理工程について

(4) 学校訪問

- ・(前期) 5月28日 菰野小、鶴川原小、千種小、菰野中
- ・(後期) 11月22日 竹永小、八風中、朝上小

(5) 総合教育会議

- ① (第1回) 6月25日
 - 不登校対策について
 - 教職員のメンタルヘルスについて
 - 小中学校における熱中症対策について

② (第2回) 2月21日

- 小中学校における防災教育について
- 不登校対策について

(6) 委員会の主な審議内容

① 第4回教育委員会 (R 6. 4. 26)

- 令和6年度菺野町学校運営協議会委員の委嘱について
- 菺野町学校給食共同調理場施設整備基本計画書について
- 令和6年度菺野町奨学金貸付について

② 第5回教育委員会 (R 6. 5. 28)

- 菺野町各種大会生徒派遣補助金交付要綱の一部を改正する告示について
- 令和6年度学校運営協議会委員の変更について

③ 第6回教育委員会 (R 6. 6. 25)

- 令和6年菺野町議会第2回定例会の報告について

④ 第7回教育委員会 (R 6. 7. 29)

- 令和7年度使用中学校用教科用図書を選定にかかる採択協議会結果について
- 菺野町中学校給食費補助金要綱について

⑤ 第8回教育委員会 (R 6. 8. 27)

- 令和5年度菺野町教育委員会事務事業点検及び評価報告書について

⑥ 第9回教育委員会 (R 6. 10. 1)

- 仮議席の指定について
- 教育委員会教育長の職務を代理すべきものの指名について
- 菺野町教育委員会の議席の決定について
- 第3回定例会の報告について

⑦ 第10回教育委員会 (R 6. 11. 22)

- 視察研修について

⑧ 第11回教育委員会 (R 6. 12. 23)

- 令和6年菺野町議会第4回定例会の報告について
- 就学等に関する規則の一部を改正する規則について
- 菺野町立小中学校卒業式告辞について

⑨ 第1回教育委員会 (R 7. 1. 21)

- 菺野町立小中学校入学式祝辞について
- 第2回総合教育会議について

⑩ 第2回教育委員会 (R 7. 2. 21)

- 学校の管理に関する規則の一部を改正する規則について
- 菺野町立小中学校事務処理規程の一部を改正する告示について
- 菺野町立小中学校事務の共同実施協議会設置要綱の一部を改正する告示について
- 令和7年度 菺野町学校教育指導方針について
- 校長及び教頭等異動内申について
- 教諭等異動内申について
- 令和7年度「菺野ふれあい教室」運営要項について
- 令和7年度いじめ不登校対策事業について
- 菺野町特別支援教育巡回コーディネーター配置要項について

⑪ 第3回教育委員会 (R 7. 3. 27)

- 菺野町学校給食センター整備運営事業者選定委員会設置要綱について
- 菺野町私立高等学校振興助成金交付要綱の一部を改正する告示について

- 菰野町教職員研修協議会補助金交付要綱の一部を改正する告示について
- 菰野町児童会・生徒会補助金交付要綱の一部を改正する告示について
- 菰野町キャリア教育事業補助金交付要綱の一部を改正する告示について
- 菰野町各種大会児童生徒派遣補助金交付要綱の一部を改正する告示について
- 菰野町PTA連絡協議会補助金交付要綱の一部を改正する告示について
- 菰野町非核平和啓発生徒派遣補助金交付要綱の一部を改正する告示について
- 菰野町修学旅行引率等補助金交付要綱の一部を改正する告示について
- 令和7年菰野町議会第1回定例会の報告について

2 令和6年度菰野町教育方針

(1) 学校教育

「新しい時代をたくましく生きる子どもの育成」

・小中学校【資料2】

教育課題を的確にとらえ、子どもを主体にした創意ある教育課程の編成に努め、家庭、地域社会との確かな連携のもと魅力ある教育活動の推進を図る。

・幼稚園

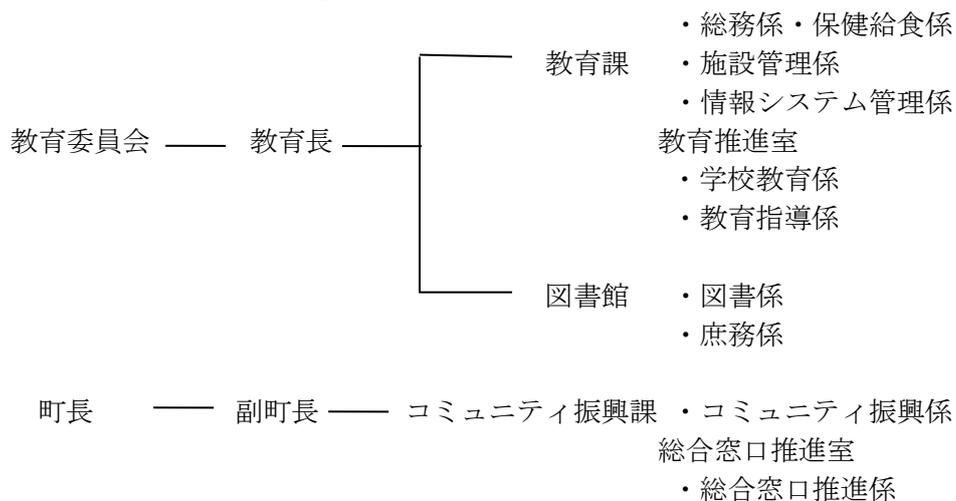
自発的な活動と遊びを通して、総合的な指導により人間形成の基礎を培う。遊びを中心とした生活を通して、生きる力の基礎となる心情、意欲、態度が身につくようにする。

(2) 社会教育

「生涯学習の理念に基づいて幼児期から高齢者に至るすべての住民に少しでも多くの学習の場と機会を確保しながら健康で心豊かな人づくり、地域に根ざした町づくりの実現に努める。」

3 事務局体制

(1) 事務局組織【資料1・9】



(2) 職員数の状況(常勤職員)

R 6. 4 現在(単位:名)

課名	課長	室長 企画監	館長	課長 補佐	係長 副主幹	係	会計 年度 任用	その他 (ALT)	合計
教育課	1	1		2	3	4	3	2	16
図書館			1			3	10		14
コミュニティ 振興課	1				3	3	2		9

(3) 外部職員数【資料4】

(4) 教育予算の推移(決算)

(単位:千円)

区分	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
学校教育	1,058,235	1,188,980	1,111,173	1,129,526	1,430,261
社会教育	259,207	197,469	192,246	29,078	29,657
図書館	81,289	84,088	77,858	88,740	136,465
合計	1,398,731	1,470,537	1,381,277	1,247,344	1,596,383
町一般会計	17,645,081	15,021,599	14,105,267	14,558,976	15,103,403
教育費割合%	7.9%	9.8%	9.8%	8.6%	10.6%

* 学校教育には教育総務費、奨学金、幼稚園費を含む

III 事務事業の執行状況

1 学校教育

(1) 確かな学力を育む教育の推進

① 主体的・対話的で深い学びの実現

きめ細かな個に応じた学習指導の充実を図るため、非常勤講師を小学校3年生から6年生の算数科と、中学校2年生と3年生の数学科及び英語科、その他学力向上のために必要と認められる教科について町単独で各学校に配置して少人数指導等を行った。

小学校6年生と中学校3年生を対象に「令和6年度全国学力・学習状況調査」が実施された。調査問題には、子どもたちに「どのような資質と能力を身に付けなければならないのか」、そのために「どのような授業を行えばよいのか」を示すメッセージとなる問題が出題されている。各校は、調査問題の分析、調査結果からみられた課題(子どもたちがどこでつまづいているのか)の分析を実施し、学習指導の改善及び充実の取組を推進した。

小学校4年生と5年生、中学校1年生と2年生を対象に行われた「みえスタディ・チェック」では、調査結果からみられた課題の分析を各校で行い、学習指導の改善と学習内容の確実な理解と定着を図る取組を進めた。

教職員の授業力向上については、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の取組が各校において推進されるよう、授業づくりのポイントをまとめたリーフレット「菰野町授業づくりマスター」を全教職員に対して配付し、浸透を図っている。令和6年度は「この1時間の授業の中で何ができるようになれば

よいのか」を「めあて」の形で示すことを徹底する指示を出し、児童生徒が「わかった」「できた」という実感が持てる授業改善の取組のさらなる推進を図った。

さらに、朝上小学校と鶴川原小学校においては三重県教育委員会の「わかる授業推進事業」を受託し、担当課と連携しながら算数科、国語科における少人数指導を実施した。

② 特別支援教育の充実

特別な支援が必要な児童生徒について、各校で校内特別支援委員会を組織し、校内コーディネーターが中心となり、児童生徒への支援のあり方について組織的に検討した。令和6年度より、町内に2名配置している菰野町特別支援教育巡回コーディネーターを会計年度任用職員として任用（1名は事務局配置、1名は千種小配置）し、授業等に縛られない柔軟な運用のもと、各学校への助言を行った。対象児童生徒については、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成したうえで適切な指導及び支援を行った。また、特別支援教育支援員28名を各学校の状況に応じて配置し、通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒への支援にあたってきた。さらに、子ども家庭課とも連携し、個別の指導や支援が必要と思われる児童生徒について、みえ発達障がい支援システムアドバイザー（支援センターあさけ）に助言を求めたり、アドバイザーが対象となる児童生徒へ直接対応したりすることで、学校での指導及び支援に活かしてきた。

菰野町立小学校に在籍する発達障害のある児童の学習上または生活上の困難を改善及び克服するために、令和2年度に竹永小学校に通級指導教室「ほっとルームたいよう」を開設し、令和6年度に千種小学校に通級指導教室「ほっとルームひまわり」を開設した。令和6年度は「ほっとルームたいよう」では、のべ13名の児童が、「ほっとルームひまわり」では、のべ14名の児童が通級指導を受けた。

特別支援学級在籍児童生徒への指導及び支援については、校内研修会等で全教職員が授業を参観し情報を共有したり、菰野町巡回コーディネーターが訪問し、指導及び支援のあり方について助言したりしてきた。また、31名の介助員を学校の状況に応じて配置し、特別支援学級に在籍する児童生徒への支援にあたってきた。

菰野町就学支援委員会では、対象となる園児、児童及び生徒の観察や聞き取りを行い、あわせて保護者の就学相談も行うことで、子どもや保護者のニーズに合ったよりよい就学支援を目指している。

③ グローバル教育の推進

小中学校の外国語教育の充実を図るために、ALT（外国語指導助手）2名を小中学校に派遣し、子どもたちがネイティブの英語音声に親しみ、発音を習得する機会の確保に努めた。

小学校5年生と6年生の外国語科の授業において、学習指導要領に示された外国語科の目標及び英語学習の特質を踏まえ、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」「書くこと」の5領域別に設定された目標の実現をめざした指導が小学校において行われるために、三重県教育委員会の支援を受けて、CAN-DOリスト（学習到達目標）に基づいた言語活動を重視した英語授業の研修を実施した。

また、小中連携にも力を入れ、小中学校の英語担当教員が授業参観をふまえて交流、協議する機会を設定し、学習指導要領に示された英語の目標や指導内容の共通点と相違点について理解を深めて指導に活かす取組を推進した。

④ ICTを活用した授業の充実

各学校がICTを活用した教育の考え方と進むべき方向性について共通のビジョンを持ち、効果的な活用方法を模索しながら教育の質の向上を図っていくために、国のGIGAスクール構想の方針を踏まえた「菰野町学校ICT教育推進計画」を策定し、各校に示している。

また、義務教育9年間に獲得すべき情報活用能力をまとめた「学年別情報活用能力段階表」や必修化されたプログラミング教育が小学校において確実に実施されるために発達段階に応じた「プログラミング学習教材系統表」を各学校に示している。各校はそれらに基づき、情報活用能力育成のための年間指導計画を作成し、見通しをもちながら情報教育を推進している。

各校がICT環境を安定的に維持することができるよう「学年別情報活用能力段階表」や「1人1台端末使用上の約束」、「健康に関する指導」、「紛失・故障・破損等の対応」等を取りまとめたガイドブックを作成し、各学校に配付・周知を行った。また、年間5回の情報担当者会議を開催し、ICTの環境整備や活用方法について協議を重ねた。

菰野町では、児童生徒1人1台端末に学習者用デジタル教科書を導入している。ICT支援員を各学校へ派遣し、教職員と児童生徒へのICT機器等に関する技術面等のサポートを行った。

また、情報発信による他者や社会への影響、インターネット上のルール等を守ることの意味、情報には自他の権利があること、情報には誤ったものや危険なものがあることについて考え、適正に情報を活用することについて学ぶ情報モラル教育を推進した。

⑤ キャリア教育の推進

各教科及び道徳、特別活動、総合的な学習の時間等、教育活動全体を通して、かつ他の教育活動とのバランスに配慮しながら、汎用性のある学力、コミュニケーション能力、忍耐力、規範意識、マナー、働く者の権利や義務についての理解、男女共同参画を重んずる態度等、社会的、職業的自立に必要な能力の育成を図った。特に中学校においては、子どもたちが望ましい勤労観や職業観を持ち、主体的に進路を選択する能力を身につけていくことをめざし、外部講師を招いてのマナー講座や職場体験学習を実施した。

⑥ 幼児教育の充実

就学前教育と保育の両方を提供する幼保一体施設の運営を継続して行い、町内全ての小学校区で保護者のニーズに寄り添った就学前教育及び保育、幼児教育の充実に努めた。幼保一体化幼稚園を含めた全ての幼稚園において3歳児保育を実施している。

各中学校区の校長会議や、子ども支援ネットワーク会議の中で、保幼小中の連携を目的とした研修会をもち、学校や園の状況、教育課題等についての共通理解を深めることができた。また、幼児教育が小学校教育開始の大切な準備段階であることから、保幼小の相互の活動を園児と児童が体験したり、職員が参観したりすることで交流を行ってきた。

子ども家庭課と連携をしながら、今後も園と小学校の子どもたちの具体的な姿をもとに教育方法や指導計画について意見交換をする機会等を設け、園と小学校との円滑な接続を一層図るよう努めていく。

(2) 豊かな人間性を育む教育の推進

① 人権教育・道徳教育の充実

人権教育では、各学校が策定した「人権教育推進計画」に基づき、子どもたちの人権尊重の意識と実践力を養うため、教科等指導や生徒指導、学校経営などの教育活動全体を通して、一人ひとりの存在や思いが大切にされる「人権感覚あふれる学校づくり」をめざし、町内すべての小中学校で、子どもたちの発達段階に応じた「人権教育カリキュラム」を作成し取組を進めた。

道徳教育では、各校において学校や子どもたちの実態に基づき、道徳教育の全体計画等を作成し、学校の教育活動全体を通じて道徳教育を実施した。各教科や総合的な学習の時間及び特別活動等においては、それぞれの特質を生かしながら、生命を尊重する態度、我が国の伝統や文化、郷土を愛する心等、子どもたちの道徳性が養われる教育活動を推進した。

道徳科においては、よりよく生きるための基盤となる道徳性を子どもたちに育成するために、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめたり、物事を多面的及び多角的に考えたり、自己の生き方について考えたりする学習場面を重視した授業を推進した。

また、子どもたちの日常的に情報機器を用いる環境に対応するため、道徳科の授業において、情報機器等は便利である一方、使い方によっては違法行為や他者を傷つける等、人間関係に負の影響を及ぼすこと等について子どもたちが考えを深めることができる情報モラル教育の充実に努めた。

② 安心して学べる学校づくり

学校においてはすべての子どもたちにとって居心地の良い学校となるように、子どもたちに対する観察と教育相談に加えて、「hyper-QU」（子どもたちの内面を知ることのできる「楽しい学校生活を送るためのアンケート調査」）を実施するなど、さまざまな観点から子どもたちの実態を把握し、日常の学級指導や特別活動などにおいても集団づくりの取組を進めた。

児童生徒の悩みを積極的に受け止めることができるようにするため、令和6年度もスクールカウンセラーや生徒指導推進協力員、スクール相談ネットワークを町単独で配置し、生徒指導體制の確立に努めた。学校内の巡回や問題行動等の予兆の早期発見、未然防止、保護者への支援等の取組を進めてきた。各校の状況をスクール相談ネットワークと情報共有し、子ども家庭課や北勢児童相談所、四日市西警察署、三重県教育委員会のスクールソーシャルワーカーや生徒指導特別指導員等の関係機関と連携して、適切な指導に努めた。

また、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、学校教育に携わるすべての関係者がいじめの兆候をいち早く把握して迅速に対応するよう、学期に1回以上のアンケート調査や個別面談等により、いじめの早期発見、早期対応に努めた。いじめ問題の根本的な解消に向けて子どもたちの人権感覚を高め、思いやりの心や個性を認め合う力を育成し、さらには違いを多様性として理解する力を培い、「いじめを許さない心」を育むとともに「いじめを許さない」「見て見ぬふりをしない」ことが自然で当然な価値観とされるよう取組を進めた。また、情報モラル教育やリスク管理を推進するとともに、教職員や保護者等の情報技術に対する対応力の向上を図り、いじめを含むネットトラブルの未然防止や早期発見、早期対応にも努めた。

さらに、菰野ふれあい教室を町単独事業として「三重県民の森 ふれあいの館」で週3回、指導員2名体制で実施した。令和6年度は小学生5名と中学生3名が新たに入級した。個別指導を中心に基礎学力定着のための学習支援に努めるとともに、教育相

談セラピストも年 20 回派遣し、不登校児童生徒（保護者を含む）の相談に応じてきた。

教育委員会事務局に非常勤の教育相談員を配置し、教育相談にあたってきた。令和 6 年度は、面談 55 件（来所 18 件・巡回 31 件・訪問 0 件/昨年度計 20 件）、電話による相談 6 件（昨年度 6 件）となっている。相談内容の主なものとしては、不登校の問題や学校生活への適応を含めた学業や進路に関するもの、いじめを除く友人関係や家庭に関するものであった。なかでも相談内容として一番多かったのは、学業・進路に関する相談で、カウンセラーや子ども家庭課と連携して発達検査も実施しながら支援の方向を考えたものは 108 件あった。

不登校児童生徒数は、小学校で 75 名（前年度 43 名）、中学校で 76 名（前年度 88 名）と、小学校で 32 名の増加、中学校で 12 名の減少となった。近年、小学校低学年の不登校児童数に増加傾向が見られる。令和 6 年度は、小学校の高学年の増加と中学校の 3 年生の減少が目立った。中学校で減少に転じた原因の一つとしては、令和 5 年度から取り組んでいるレジリエンス教育（県教委・生徒指導課）が考えられる。不登校の原因は種々様々であるが、聞き取りによる主たる要因は小学校では「生活リズムの不調」、中学校では「学校生活に対してやる気がでない」であった。コロナ禍が長期化したことで、人と人が関わり合う機会が減少し、友だちと人間関係を築くことに難しさや不安を感じる児童生徒が増えたことも原因ではないかと考えられる。スクール相談ネットワークや菰野ふれあい教室指導員が学校の不登校対策委員会に出席するなど学校と連携し、また各学校においては関係機関等と情報の共有を図りながら指導及び支援にあたってきた。

（町不登校児童生徒数）

人、（ ）内は%、R 6 は暫定値

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校	18(0.76)	16(0.67)	18(0.74)	41(1.69)	43(1.85)	75(3.23)
(全国平均)	(0.83)	(1.0)	(1.3)	(1.7)	(2.1)	
中学校	46(4.05)	40(3.56)	34(3.0)	62(5.46)	88(7.32)	76(6.32)
(全国平均)	(3.94)	(4.09)	(5.3)	(6.0)	(6.7)	

③ 読書活動の充実

読書活動を通して、子どもたちの感性を磨き、表現力や想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけさせる等の豊かな心の育成に取り組んできた。また、読書活動は主体的な学びや読解力、言語能力、創造力を育む重要な学習活動である。学校においては、一斉読書や読み聞かせ、家庭読書の啓発に努めた。

平成 28 年度より町内すべての小中学校へ菰野町図書館司書が月 2 回の巡回訪問を行い、菰野町図書館と学校が連携し、学校図書館の環境整備に努めている。子どもたちが新しい情報に触れることができるよう、刊行後の時間の経過とともに古くなった情報が記載された図書等については、環境、キャリア教育、情報化社会等に関する図書を中心に、計画的に更新を行っている。また、文学や読み物漫画に偏ることなく、自然科学や社会科学等の分野の図書資料の割合を高める等、子どもたちや教職員のニーズを把握しながら、調和のとれた蔵書構成になるよう選定に努めている。

（学校図書館の整備状況）

R 7. 3

	実学級数	図書標準数	R 6 年度末蔵書数	達成率
菰野小学校	40 学級	13,960 冊	19,280 冊	1.381
千種小学校	15 学級	9,160 冊	10,394 冊	1.134
朝上小学校	15 学級	9,160 冊	14,048 冊	1.533

鵜川原小学校	10 学級	7,000 冊	10,844 冊	1.549
竹永小学校	15 学級	9,160 冊	11,977 冊	1.307
菰野中学校	27 学級	16,480 冊	18,326 冊	1.112
八風中学校	13 学級	11,200 冊	15,219 冊	1.358

④ 郷土教育の推進

自分たちが育ってきた地域を大切に守っていこうとする心や、地域に貢献しようとする態度を養う等、郷土について考える機会を充実させていくために、地域の教育資源や、「わたしたちのまち菰野町」（小学校社会科副読本）を活用のほか、町で保管している郷土資料を小学校へ持ち出し、実際に触れながら学芸員から授業を受けるなど、「郷土を知り、郷土から学ぶ」学習活動を推進した。これらの学習活動には、各校の学校運営協議会（菰野町コミュニティ・スクール）の取組とも関連づけながら、郷土教育を実施することができた。

(3) 健やかな体を育む教育の推進

① 健康教育の充実

子どもたちが自分自身を価値ある存在と認めて自分を大切に思う自尊感情を育むなど、教育活動全体を通して「いのちの教育」に取り組んだ。また、性に関する教育やがん教育、喫煙・飲酒の防止、薬物乱用防止教室等、子どもたちの健康課題については、子どもたちの発達の段階に応じて、小学校の体育科や、中学校の保健体育科の授業を中心に養護教諭等や栄養教諭などとも連携し、学校の教育活動全体を通じた健康教育を実施した。養護教諭等により保健だより等を発行し、児童生徒だけでなく、保護者に対しても健康教育の啓発を行った。

② 体力の向上

学校体育では、体育や保健体育の授業及び運動部活動、スポーツ行事など、学校教育活動全般を通して、子どもたちが運動やスポーツの楽しさ、喜びを体験し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培うものとして充実を図ってきた。

また、児童生徒一人ひとりがそれぞれの能力と適性に応じて、運動の課題を自ら解決することによって運動の楽しさや喜びを味わうとともに、運動の技能を高めることができるように授業づくりを進めた。

「三重県児童生徒の体力・運動能力調査」については、調査対象の児童生徒だけでなく、全学年の児童生徒に対し体力測定を実施して、早期からの子どもたちの体力向上に向けた取組を行っている。

さらに、運動部活動においては、菰野町部活動ガイドラインに基づいた適切な運営と効果的な指導のもと、学校生活に豊かさをもたらすことができるよう進めてきた。令和6年度は、両中学校に4名の部活動指導員を配置し、子どもたちに対して専門的な指導を充実させることができた。また、国の委託事業である地域スポーツクラブ活動体制整備事業を受け、NPO 法人元気アップこものスポーツクラブの地域指導者を両中学校のほとんどの運動部に配置し、地域クラブ活動を休日に実施することで、地域と連携した持続的な運動機会の確保・充実に取り組むことができた。

③ 食育の推進

望ましい食習慣の形成、食に関する正しい知識の習得、さらにはその知識に基づいて食品の品質および安全性について自ら判断できる能力の育成を図った。また、栄養教諭などを中心に、校内で「食に関する指導」の計画を立て、学校教育全体を通して

望ましい栄養や食事の摂り方、食に関する正しい知識等、指導内容の充実を図った。

令和6年度も菰野小学校、朝上小学校に栄養教諭を配置し、所属校が属する中学校区のすべての小中学校も担当し、小学校1年生から中学校3年生までのそれぞれの発達段階に応じた食育指導を担当や養護教諭等と連携して実施した。

また、小学校では給食だよりを定期的に発行し、児童だけでなく保護者に対しても食育の啓発等に取り組んだ。

その他には、令和3年度に菰野町学校給食検討会より提出された小中学校給食の在り方検討結果報告書の内容を踏まえ、今後の小中学校給食事業の方向性や行程等を示した。適切な事業実施につなげていくことを目的として、令和5年度に菰野町学校給食基本構想を策定しており、この基本構想で示した食育の推進につながる小中学校合同の学校給食センターの整備に向け、用地の選定及び契約を行った。

(4) 信頼される学校づくり

① 地域とともにある学校づくりの推進

菰野町においては、平成29年度より町内すべての小中学校でコミュニティ・スクールをスタートさせた。

菰野町学校教育指導方針の一つである「地域とともにある学校づくり」を基本として、各学校で地域性や子どもたちの状況に応じた特色ある学校経営がなされるよう、各校の学校経営方針を学校づくりビジョンに位置づけている。学校づくりビジョンは、学校だよりや各校のホームページ等を活用して公開している。また、児童生徒や保護者、教職員を対象とした学校評価についても同様に情報公開を行っている。

学校マネジメントシステム（学校自己評価と学校関係者評価）やコミュニティ・スクール等を活用することで、保護者や地域住民が学校運営に参画する機会を増やしている。さらに学校公開日（週間）を通して日頃の教育活動を広く公開するとともに、地域の人材を活用した外部講師（ゲストティーチャー）を教育活動の中に取り入れたり、中学生が地域のふれあいまつり等にボランティアとして参加したりするなど、地域と学校の双方向の連携を図り、地域に信頼される「地域とともにある学校づくり」に努めた。各学校においては、これまでの地域と連携した取組が組織的に活動できるようになり、これらの取組を通して地域の方々や児童生徒にとってよい刺激となるなど、学校品質の向上につなげることができた。

② 教職員の資質向上とコンプライアンスの推進

日常的にOJTによる人材育成を行い、授業の進め方や生徒指導のあり方等の具体的な課題について同僚との議論を通して互いの力を磨こうとする「育てる文化」をつくりながら教職員としての資質の向上を図った。また、教職員同士の対話を重視し、互いに認め合える職場づくりをめざすとともに、学校の課題を共有し解決していくために、組織として対応する教職員集団を育成し、学校組織の活性化及び同僚性の構築を図った。

教職員の綱紀粛正及び服務規律の確保に関して、「教職員向けコンプライアンス・ハンドブック」や「コンプライアンス・ミーティング研修資料について」（ともに県教委資料）を活用した校内研修等による教職員の意識改革を促している。

教職員の授業力の向上については、学力向上アドバイザーを町単独で2名配置し、各校の要請に応じて派遣を行っている。学習者主体の考え方に立ち、児童生徒の基礎的かつ基本的な知識の習得の徹底と、児童生徒が「できた」という実感を持てる授業づくりのための支援を進めている。

③ 学校における働き方改革の推進

総括安全委員会において、前年度の時間外在校等時間などの分析結果をもとに、全校での総勤務時間の縮減の取組を行っている。「定時退校日の設定」「(菰野町部活動ガイドラインに則った)部活動休養日の設定」「会議時間の短縮」のような取り組み目標であったり、「年に1日分の休暇の取得日数の増加」や「時間外労働者数0人」などの具体的な数値目標を掲げたりしている。また、全校に、学校電話の「休日・夜間モード設定」を導入し、勤務時間外の教職員の負担軽減を進めている。これらの取組は、学校を通じて各家庭にプリントを配付することで、保護者の理解を得ることに努めている。

業務内容の改善取組としては、「校務支援システム (C4th(シーフォース))」を活用することにより、校務で取り扱うさまざまなデータを電子化し、校務の情報化を図ることで、名簿や成績表及び保健管理等を取り扱う時間の削減など、一定の定量的効果を上げることができている。

教員の指導のための時間の確保として、各学校の職務内容や職場環境を把握し、教員による日常的な児童生徒との関わりや、教育相談等を定期的に行える職場づくりに努めた。業務負担の軽減策としては、令和5年度の時間外等在校時間に応じたスクール・サポート・スタッフの全校配置、生徒指導及び不登校支援の対応として、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの各校への配置や、不登校対策・学校業務支援員の活用を各校へ促した。また、図書館司書の全校への訪問時間や回数を増やすなど、専門職種の学校への導入を積極的に推し進め、児童生徒と向き合う時間が生み出せるようにサポートしている。

④ 子どもたちの安全・安心の確保

子どもたちを取り巻くあらゆるリスクを想定し、家庭や地域とも連携した安全対策の確立と、教職員の危機管理意識や危機管理能力の向上を図り、あらゆる教育活動の中に安全教育(生活安全(防犯を含む)教育、交通安全教育、防災教育)を位置づけることで、子どもたち自らが危険を予測したり回避したりする力を身に付けられるよう努めた。

学校施設は児童生徒等の学習や生活の場であることから、学校施設の耐震化の推進、安全点検の徹底、教職員の危機管理意識を高める取組等を通して、事故が起こらない環境づくりを進めた。

また、夏場の熱中症への対応として、新型コロナウイルス感染症対策の経験を活かし、非常時においても子どもたちが安全・安心に学びを継続していくことができるよう、学校運営を持続していくよう努めた。

(施設整備事業の主な内容)

工事名	請負業者	請負金額	工期	工事概要
菰野小学校職員室 空調設備改修工事 (長寿命化事業)	音羽電気 株式会社	3,212,000円	自 R6.5.13 至 R6.8.10	エアコン改修
菰野小学校 校舎他改修工事 (長寿命化事業)	株式会社 館建築	41,989,200円	自 R6.6.21 至 R6.10.13	屋上防水他 各所改修

菰野小学校C館 手洗い水栓増設工事	有限会社 内田設備	1,218,800円	自 R6.4.26 至 R6.8.31	改修工事
千種小学校 校舎他改修工事 (長寿命化事業)	株式会社 八幡建設	20,498,500円	自 R6.6.7 至 R6.9.14	外壁塗装他 各所改修
朝上小学校 校舎他改修工事 (長寿命化事業)	株式会社 館建築	11,096,800円	自 R6.6.7 至 R6.9.14	内壁塗装他 各所改修
朝上小学校 非常放送設備更新工事	有限会社 三重電設	2,497,000円	自 R7.1.24 至 R7.3.31	更新工事
鵜川原小学校 フェンス改修工事 (長寿命化事業)	アトラス建設 株式会社	8,653,700円	自 R6.5.31 至 R6.9.27	フェンス 門扉改修
鵜川原小学校 校舎他改修工事 (長寿命化事業)	辻木材 株式会社	14,484,800円	自 R6.6.7 至 R6.9.14	床材貼替他 各所改修
竹永小学校 ガス設備更新工事 (長寿命化事業)	有限会社 藤田水道板金	3,465,000円	自 R6.5.13 至 R6.8.25	ガス方式変更 (LPガス)
竹永小学校 空調設備改修工事 (長寿命化事業)	諸岡建設 株式会社	11,352,000円	自 R6.5.31 至 R6.8.13	エアコン改修
竹永小学校 校舎他改修工事 (長寿命化事業)	諸岡建設 株式会社	17,507,600円	自 R6.6.21 至 R6.9.28	外壁塗装他 各所改修
菰野中学校 校舎他改修工事 (長寿命化事業)	辻木材 株式会社	11,710,600円	自 R6.6.21 至 R6.9.28	内壁塗装他 各所改修
菰野中学校 中継ポンプ更新工事	株式会社 東産業	1,898,600円	自 R6.6.13 至 R7.3.31	更新工事

菰野中学校保健室 給水管改修工事	有限会社 内田設備	1,287,000 円	自 R 7. 1. 14 至 R 7. 3. 28	改修工事
八風中学校 校舎他改修工事 (長寿命化事業)	株式会社 内田工業所	10,804,200 円	自 R 6. 6. 7 至 R 6. 9. 14	外壁塗装他 各所改修
八風中学校他 1 校 テニスコート整備工事	長永スポーツ工業 株式会社三重支店	8,031,100 円	自 R 6. 9. 26 至 R 7. 3. 24	改修工事

[主な修繕内容]

菰野小学校 : 消防設備修繕、漏水修繕等

千種小学校 : エアコンフィルター枠修繕、屋上防水修繕、屋外床タイル修繕等

朝上小学校 : 空調機部品修繕、ガス設備修繕、ポンプ制御盤修繕等

鵜川原小学校 : 屋外漏水修繕、職員玄関建具修繕、ガス配管修繕等

竹永小学校 : プールサイド修繕、谷樋修繕、空調機部品修繕等

菰野中学校 : 消防設備修繕、E V棟雨漏り修繕、排水管修繕等

八風中学校 : 漏水修繕、武道場雨漏り修繕、ポンプ制御盤修繕、ガス設備修繕等

【評価と今後の方向】

菰野町教育大綱及び菰野町教育振興基本計画の方針では、「新しい時代をたくましく生きる子どもの育成」を学校教育目標として掲げ、「自立と共生」と「信頼」をキーワードに、「確かな学力の育成」「豊かな人間性の育成」「健やかな体の育成」「信頼される学校づくり」の4つを柱にして、菰野町が目指す学校教育の方向性を示している。この方針に基づき本年度の教育活動を推進した。なお、令和5年度中に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたが、感染症の流行以来、子どもたちの学習や心身にも一定の影響が生じているとの指摘もあることから、コロナ禍で再認識された学校の役割を踏まえ、新しい時代の学びを実現するべく未来を切り拓く力をつけていく教育活動を行っていくことを原則として進めていた。個別の主な事業についての評価と今後の方向については、以下のとおりである。

学力の定着に向けて、町単独で各学校に非常勤講師を配置し、少人数授業を小学校3～6年生の算数科で、中学校では2年生と3年生の数学科及び英語科で実施し、また、その他学力のために必要と認められる教科について、児童生徒一人ひとりにきめ細かな個に応じた指導をしてきている。しかし、講師不足が深刻な状況であり、産育休や病休補充の常勤講師が十分に配置できずに、少人数授業の実施に影響が出る場合

があるのが課題である。今後も引き続き小学校の算数科と中学校の数学科及び英語科に重点をおいた少人数授業の推進を図り、その他学力向上のために必要と認められる教科において、基礎学力の定着ときめ細かな指導を目指していく。

これまで「全国学力・学習状況調査」「みえスタディ・チェック」を通して、各学校で学力調査の結果を分析し、課題を明らかにして、授業改善に取り組んできた。また、学年末には取組の検証も行った。今後も調査結果の分析を実施し、授業改善につなげられるようにしたい。また、調査結果については経年推移からも分析し、有効に活用していく。

ICTを活用した授業づくりについては、各校に示している「菰野町学校 ICT 教育推進計画」に基づき、導入した学習者用デジタル教科書等の効果的な活用や、情報モラル教育の充実を図ることで、ICT 環境を安定的に維持することができるよう取組を推進していく。

特別支援教育については、校内特別支援委員会の中で、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援を推進するために、個別の教育支援計画や指導計画を作成して、保護者や関係機関との連携を図り、児童生徒の指導及び支援にあたってきた。就学前、小学校、中学校と途切れのない支援体制を整えるため、子ども家庭課との連携を強めるとともに、町内2名の特別支援教育巡回コーディネーターを各学校からの要請に応じて派遣し、就学相談等の充実を図ってきた。今後も、途切れのない支援体制の整備、関係機関との連携を充実させる。また、障害者差別解消法を受け、今後も学校現場における合理的配慮の提供についても各校と協議しながら取組を進めていく。

通級指導については、令和6年度は千種小学校に新たな通級指導教室「ほっとルームひまわり」を開設し、主に菰野中学校区の児童を対象として指導を行った。竹永小学校に開設し、5年目となった通級指導教室「ほっとルームたいよう」とともに、通級指導担当教員の発達障害のある児童への指導や支援に係る専門性の向上を図りながら指導や相談体制を維持している。

外国語教育については、ALT（外国語指導助手）を活用したり、小中学校の英語担当教員の交流や協議の場を設けたりして、小学校における外国語や外国語活動の授業力向上や小中連携の取組を推進する。

幼児教育については、これまで進めてきた CLM（チェック・リスト・イン三重）や個別の指導計画、パーソナルカルテ（菰野町版）等の取組も活用し、保育園、幼稚園、こども園、小中学校の連携をさらに深める。また、幼児教育が小学校教育開始の大切な準備段階であることから、子ども家庭課と連携しながら、園と小学校の子どもたちの具体的な姿をもとに教育方法や指導計画について意見交換をする機会等を設け、園と小学校との円滑な接続を一層図るよう行ってきた。

人権教育・道徳教育については、全教育活動を通じて、一人ひとりの存在や思いが大切にされる「人権感覚あふれる学校づくり」を進めるとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に捉え、自己の生き方についての考えを深める学習活動を重視した授業づくりを推進した。

町内の不登校児童生徒数については、令和6年度は小学校で37名の増加、中学校で6名の減少となった。不登校の要因は様々であるが、依然として不登校率が高い状況が続いていることは菰野町にとって大きな課題であると言える。学校の支援室や菰野ふれあい教室等での学習を通して、自己肯定感や自尊心の育成を図り、徐々に自己実現に向けての成果を上げている子どももいるが、不登校及び不登校傾向が長期化してしまっている児童生徒もいる。令和5年度に中学校で不登校生徒が増加したことで、令和6年度は両中学校で、不登校の入り口の段階での未然防止の取組（レジリエンス教育）に視点を当てることを大切にしてきた。令和6年度に小学校で不登校児童が増

加したことを受け、引き続き小学校児童の状況に応じた多様な学びの場の提供が求められるなか、不安や悩みを受け止められる体制づくり（校内外の居場所の確保、教育相談の充実、「楽しい学校生活を送るためのアンケート調査（hyper-QU 調査）」等の取組、カウンセラー等の配置、教職員のカウンセリングマインド研修等）の充実を進める。

読書活動の推進については、一斉読書の取組、図書標準数達成に向けての書架整備、家庭での読書の啓発など読書活動の充実に取り組んできている。また、菰野町図書館職員によるブックトーク、こもの電子図書館の電子書籍の利用など、菰野町図書館と連携した取組も進めた。今後も、家庭、図書館司書と積極的に連携し、学校図書館の環境整備や家庭読書を推進していきたい。

体力向上については、町内すべての小中学校において体力テストを実施し、その傾向と課題を分析しながら、基礎体力の向上に向けて取組を進めていく。また、中学校部活動については、引き続き菰野町部活動ガイドラインに基づいた適切な運営を行うとともに、部活動の地域移行（展開）については、国の委託事業である地域スポーツクラブ活動体制整備事業を受け、NPO 法人元気アップこものスポーツクラブ指導者による地域クラブ活動を休日に実施し、令和8年度中の休日の学校部活動完全移行へ向け、地域と連携した持続的な運動機会と文化活動の確保・充実に取り組むことができた。

地域とともにある学校づくり推進事業（コミュニティ・スクール）については、年間4回程度の学校運営協議会での意見交換や授業参観等を行っている。郷土の自然や、地域や資源を生かした学習など各校での取組が充実してきている。今後も情報を積極的に発信し、地域や家庭と情報を共有しながら事業を進めていく。

学校施設、設備の充実については、児童生徒の利便性、快適性の向上に向けた対策を継続して進めていく。また、学校電話の「休日・夜間モードの設定」、「校務支援システム」の活用を定着させ、草刈りなどの校内環境整備や、プール清掃を外部委託することで、学校における働き方改革を推進した。教職員の長時間労働を軽減し、教育の質の向上をめざす取組を実施している。

2 社会教育

(5) 地域全体で取り組む家庭教育と青少年健全育成の充実

①家庭の教育力の向上

家庭教育講座として、防災ラジオなどを通じて啓発活動を行った。

②地域における青少年活動の推進

青少年健全育成を推進するため、地域における非行防止の環境づくりや補導活動等を支援した。

③現代社会を生き抜く青少年の健全育成

青少年育成町民会議を中心とした非行防止パトロール、あいさつ運動等を支援し、補助金を活用することで活動の場を広げ、町ぐるみでの青少年育成活動を行った。

○青少年活動支援推進事業

事業名	期 日	対 象	場 所	人 数
コボインタフェスティバル	7月7日	18歳以下	町民センター ホール	250名
KOMONOプロギング	9月29日	一般	菺野町庁舎 町民センター周辺 (町民会議事業)	39名
書初め大会	1月11日	幼保園児 小中学生 一般	体育センター	55名
新春たこあげ大会	1月11日	親子	朝上小学校 (町民会議事業)	81名
育成者指導者研修会 家庭教育研修会	2月2日	一般	町民センター ホール	60名

(6) 活力ある地域社会の構築に向けた生涯学習の推進

①生涯学習推進体制の確立

よもやま歴史教室や人権コンサート、かもしかライフカレッジ等、生涯学習の振興を図るための講座や講演会などを行った。また、外国語指導助手により、隔月で国際交流会を開催し、町内における国際交流活動を推進した。

○生涯学習推進事業

よもやま歴史教室 2024 [主催]菺野町/よもやま歴史サークル

回	日時	内 容	講 師	人数
1	5月18日 14:00~	家康暗殺計画と関ヶ原の戦い	歴史研究家 平尾 栄滋 先生	80名
2	6月15日 14:00~	郷土の歴史遺産「中世城郭」を楽しむ	元県立高等学校校長 伊藤 徳也 先生	73名
3	7月20日 14:00~	紫式部と藤原道長	日本文学研究家 河原 徳子 先生	167名
4	8月15日 10:00~	四日市空襲の記憶	四日市市立博物館学芸員 篠 昌志 氏 体験者 近藤 賢次 氏 山本 良則 氏	51名

5	9月21日 14:00～	幕末大江戸の風景	拙堂研究家・文学博士 (拙堂の玄孫) 齋藤 正和 先生	72名
6	10月19日 14:00～	江戸時代における村人たちの生活水準と生活保障	奈良大学文学部史学科 教授 木下 光生 先生	59名
7	11月16日 14:00～	三重県の成り立ち	ライター 昼間 たかし 先生	74名
8	12月14日 14:00～	忍者・忍術	三重大学教授 山田 雄司 先生	74名
9	2月15日 14:00～	五百羅漢を訪ねて	羅漢研究家 よもやま歴史サークル会員 千種 光雄 氏	55名
10	3月15日 14:00～	持統天皇	京都女子大学名誉教授 瀧浪 貞子 先生	86名

かもしかライフカレッジ2024 [主催]菰野町/かもしかライフサークル

回	日時	内 容	講 師	人数
1	8月13日 19:00～20:30	夏のほしぞら観望会	星空案内人 星のソムリエグループ	100名
2	11月4日 9:30～15:00 午前、午後の部	Gardening Open Lecture 映画、講演会、 ワークショップ	MAY GARDENS ガーデンデザイナー 柵山 直之 先生	110名
3	12月22日 14:00～16:00	ウィンターコンサート	三重ユナイテッド ウィンドオーケストラ	480名

○教育委員会主催 人権教育事業

事業名	期 日	場 所	人数
各地区公民館 ・人権コンサート ・人権講演会	7月～1月	各地区公民館 各地区コミュニティセンター	578名
人権コンサート	12月7日	町民センターホール	133名

○教育委員会主催 文化事業

事業名	期日	場所	人数
町民盆踊り講習会	6月29日	菰野地区 コミュニティセンターホール	100名
成人式	1月12日	菰野町町民センターホール 菰野町体育センター	329名
プロの音楽家による 課外授業アウトリーチ	12月5日 12月13日 2月5日 2月6日	千種小学校 鶯川原小学校 菰野小学校 朝上小学校	小学校 4年生

○教育委員会支援文化事業

事業名	期日	場所	人数
第28回菰野町俳句大会	7月13日	菰野町町民センターホール	52名 565句
第14回三滝川燈火祭り & 第36回町民盆踊り大会	8月19日	三滝川河川敷周辺	15,000名

○国際交流事業（異国文化とふれあう）

事業名	期日	場所	人数
Aneient Medicine	5月8日	菰野町庁舎4階会議室	33名
ALL about art	7月10日	菰野町庁舎4階会議室	17名
Let's Meet Jaime	9月11日	菰野町庁舎4階会議室	28名
Ghost Towns	11月13日	菰野町庁舎4階会議室	31名
Dance Around the World	1月8日	菰野町庁舎4階会議室	34名
Outer Space	3月5日	菰野町庁舎4階会議室	15名

②公民館機能の充実

生涯学習の推進を図るため、町公民館や地区公民館において各種学級、講座を開催するとともに、公民館を趣味のサークルの場として、町民センターや南部公民館、地区公民館等の施設を町民に開放した。

○公民館教室及び講座

	教室、講座名	期間	日時	学習内容	講師名	会場	人数
1	文学講座	5月 ～ 12月	第4金曜日 13:30～ 15:00	『「土佐日記」 を読む』を読 む～紀貫之が 女装して書く 日記～	三重県生涯 学習センタ ー講師 河原徳子	町民センター 会議室	56名
2	親子モノづく り講座、 ロボット講座	6月 ～ 1月	月1回 土曜日 9:30～ 11:00 11:00～ 12:30	ロボット製作 を通して、もの づくりに必要 な知識、技術を 身につける	株式会社 ロボネット 堀田 武志	町民センター 会議室	親子 21組
3	ガーデニング 講座	5月 ～ 12月	第3木曜日 9:30～ 11:00	お庭づくりの 基本をプロが 分かりやすく 伝える	メイガーデ ンズ ガーデン デザイナー 柵山 直之	町民センター 会議室	20名
4	ソーシャル メディア 講座	6月 ～ 11月	第1月曜日 18:30～ 20:00	SNSの安全で効 果的な使い方 を学ぶ	有限会社 ザワン ノブ横地	菰野町庁舎 4階 会議室等	12名
5	はじめての 古文書講座	5月 ～ 3月	第4水曜日 13:30～ 15:00	古文書の読み 方を学ぶ	中京大学文 学部名誉教 授 播磨 良紀	町民センター 会議室	46名
6	びっくり 理科実験教室	8月10日	14:00～ 16:30	おもしろ理科 実験から科学 の不思議を学 ぶ	ロボネット 堀田 武志	南部公民館 育成センター	15組
7	親子DIY 教室	7月27日 8月7日	13:30～ 15:30	作りたいもの を自分で設計 して親子で一 緒に組み立て る。	株式会社 館建築 館 巧	南部公民館 育成センター	12組
8	はじめての ドローン教室	7月27日 8月10日	9:30～ 11:30	基本的なルー ルを学び、安全 で楽しい操作 を覚える	有限会社 ザワン ノブ横地	南部公民館 育成センター	12組

③図書館サービスの充実

当館は、平成20年4月11日に開館し、現在17年目を迎えており、町民をはじめ近隣市町の利用者の方々の生涯学習の場として、中学生、高校生から高齢者まで幅広い方々に利用いただいている。また、児童書、絵本、紙芝居から育児に関する資料を児童書架に配置するとともに、絵本の読み聞かせ、英語による絵本の読み聞かせ、菰野町に伝わる民話語り、パネルシアターによる読み聞かせ、朗読劇等を体感してもらっている。

令和6年度実績について、図書開架室の年間入館者数25万7千人に対し、38万4千冊の図書資料の提供を行った。

学校図書館への図書館司書巡回支援を継続することで、児童生徒の読書関心を高める取組みを行っている他、小学生限定の『子ども司書』の卒業生を対象に、中学生以上も図書館に関わってもらおうための組織『リトルライブラリアン』が活動できる場を設けている。

施設の維持管理に関しては、経年劣化設備の計画的な長寿命化事業として照明LED化工事を実施し、読書環境の向上を図った。

ア) 図書館事業

事業名	開催日	時間	場所	備考	参加数
リトルライブラリアン	4月～3月 計14回	15:00～ ※イベント 時を除く	催事室他	小学6年生対象の子ども司書を卒業した中高生に読書推進リーダーとして活躍のできる場を提供	登録者 26人
子ども読書週間 図書館ビンゴ	4月24日(水)～ 5月12日(日)		図書館内	本を借りて縦横斜め1列揃えてビンゴカードを作成する	70名
ボランティアのための絵 本読み聞かせ講座	4月24日(水)	10:00～ 11:30	催事室	絵本の読み聞かせの方法や知識についてのボランティア初心者向け講座	15名
図書館周辺のまわりの こんちゅうをみてみよう	5月4日(土)	10:00～ 11:30	催事室他	図書館の本を使って昆虫の話の聞いたり図書館周辺の昆虫を観察	13組
子どものための 絵本ライブ	5月5日(日)	14:00～ 14:30	おはなし ルーム	職員による絵本の読み聞かせ会	4名
ボードゲームイベント	5月11日(土)	14:00～ 16:00	催事室	ボードゲームにより参加者相互の交流を図る	6名
タナゴの観察会	6月22日(土)	14:00～	催事室他	図書館に設置されている水槽で飼育しているタナゴの観察会	27名
児童書「ふるほん市」	6月23日(日)	9:30～ 14:30	けやき 図書室	各家庭から古本を寄贈して頂き販売(772冊)し、その収益を社会福祉協議会に寄付する。	132人

書庫見学会	11月17日(日)	10:00～ 11:00	書庫	図書館書庫の自由見学	18名
リサイクルフェア	11月24日(日)	9:30～ 16:00	催事室	雑誌等リサイクルフェア (同時入室25名までの人数 制限有)	200名
豆本ガチャ	12月1日(日)～ 12月25日(水)		開架室	10冊本を読んだ子どもに豆 本が入ったガチャガチャを引 いてもらう	20名
本の福袋	12月14日(土)～ 12月27日(金)		図書館内	年末年始の特別貸出(10 冊)の枠内に福袋の本を貸 出す。	26名(袋)
ほがらか絵本畑 しんちゃんの 「読みあそびライブ」	12月22日(日)	10:00～ 10:40	交流ラウン ジ	幼児～小学校3年生と保護 者を対象に読み聞かせを交 えたイベント	90名
絵本カルタ会	1月25日(土)	10:30～ 11:00	催事室	絵本の内容を読み上げて絵 本を取り合う「絵本カルタ会」 開催	子供10名
本の紹介ゲーム ビブリオバトル	2月1日(土)	13:00～ 16:30	催事室	5分間で面白かった本を紹 介し、決勝戦で一番読みたく なった本を決定する。	発表者24名 観覧者79名
ボードゲームイベント	2月2日(日)	14:00～ 16:00	催事室	ボードゲームにより参加者相 互の交流を図る	17名

イ) 催事室利用状況

開催日、期間	行事名	主催者名
4月7日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
4月13日(土)	民話がり会議	菰野町図書館
4月19日(金)	こもりぶサポーター会議	菰野町図書館
4月20日(土)	みつけ総会	菰野町図書館
4月24日(水)	ボランティアのための絵本読み聞かせ講座	菰野町図書館
5月4日(土)	図書館の周りのこんちゅうをみてみよう!	菰野町図書館
5月5日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
5月11日(土)	ボードゲーム大全	菰野町図書館
5月17日(金)～19日(日)	写真展	桜合同写真展
5月24日(金)	ボランティア作業	菰野町図書館
6月2日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
6月21日(金)	ボランティア作業	菰野町図書館
6月22日(土)	タナゴの観察会	菰野町図書館
7月7日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
7月19日(金)	こもりぶサポーター会議	菰野町図書館
7月25日(木)	図書館協議会	菰野町図書館

7月27日(土)	わくわく植物の世界へのご招待！	菰野町図書館
7月27日(土)	図書館探検隊	菰野町図書館
7月28日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
7月31日(水)	ペーパーバッグ作り体験	菰野町図書館
8月3日(土)	手作り絵本教室(前半)	菰野町図書館
8月4日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
8月10日(土)	手作り絵本教室(後半)	菰野町図書館
8月11日(日)	子ども司書育成事業	菰野町図書館
8月17日(土)	図書館周辺の昆虫たち	菰野町図書館
9月1日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
9月7日(土)	子ども司書育成事業	菰野町図書館
9月8日(日)	子ども司書育成事業	菰野町図書館
9月21日(土)～22日(日)	絵本コンクール作品展示	菰野町絵本の町づくり 文化プロジェクト 実行委員会
9月22日(日)	子ども司書育成事業	菰野町図書館
9月25日(水)	ブックコート体験会	菰野町図書館
9月27日(金)	こもりぶサポーター会議	菰野町図書館
10月6日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
10月9日(水)	ビブリオバトル普及活動	菰野町教育委員会
10月14日(月)	子ども司書育成事業	菰野町図書館
10月19日(土)	図書館周辺の昆虫たち	菰野町図書館
10月30日(水)	図書館協議会	菰野町図書館
11月3日(日)	子ども司書育成事業	菰野町図書館
11月3日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
11月16日(土)～17日(日)	書道作品展示	花墨会
11月24日(日)	リサイクルフェア	菰野町図書館
12月1日(日)	子ども司書育成事業	菰野町図書館
12月8日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
12月14日(土)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
12月22日(日)	子ども司書育成事業	菰野町図書館
1月12日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
1月24日(金)	ボランティア作業	菰野町図書館
1月25日(土)	絵本かるた会	菰野町図書館
1月31日(金)	ボランティア交流会	菰野町図書館
2月1日(土)	ビブリオバトル 2025	菰野町図書館
2月2日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館

2月2日(日)	第3回ボードゲーム大全	菰野町図書館
2月25日(火)	図書館協議会	菰野町図書館
3月2日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館

ウ) ギャラリー利用状況

開催日、期間	行事名	主催者名
4月24日(水)～5月3日(金)	イラスト展示	増田 木綿子
6月8日(土)～11日(火)	写真展示	こもの国民平和大行進 実行委員会
6月13日(木)～22日(土)	子ども達の日常写真展	森の風こども園
8月7日(水)～15日(木)	パネル展示(平和記念展)	菰野町総務課
8月17日(土)～25日(日)	イラスト展示	増田 木綿子
9月5日(木)～10日(火)	救急ポスターコンクール作品展示	菰野町消防署
9月13日(金)～16日(月)	ピアティン三重菰野町サンクスマッチ広報	菰野町コミュニティ振興課
9月17日(火)～29日(日)	貯金箱コンクール in 菰野町	菰野郵便局
10月2日(水)～13日(日)	ペットの災害対策	オアシスの会
10月15日(火)～27日(日)	八重姫伝塗り絵コンテスト作品展示	菰野町コミュニティ振興課
10月30日(水)～11月4日(月)	健康ポスターコンクール/ 社会を明るくする運動ポスター展	菰野町健康福祉課
11月7日(木)～17日(日)	ガーデニングフォトコンテスト展示	菰野町コミュニティ振興課
12月3日(火)～15日(日)	八重姫伝作品展示	菰野町コミュニティ振興課
12月17日(火)～26日(木)	ペーパークラフト展示	上野 勝美
1月11日(土)～14日(火)	全国孔版画愛好者による年賀状展	大羽根園孔版画同好会
	新春俳句展	大羽根俳句同好会
1月17日(金)～1月24日(金)	パネル展示(ええやん 里親)	社会福祉法人アパティア福祉会 児童家庭支援センター まお
3月1日(土)～3月9日(日)	春の火災予防運動中の予防広報	菰野町消防本部
3月22日(土)～30日(日)	イラスト展示	増田 木綿子

エ) 令和6年度図書館貸出等の状況

開館日数	296日	新規登録者	1,204人
貸出人数	125,932人	貸出冊数	384,268冊
購入冊数	4,279冊	受入冊数	6,507冊

登録者数	29,278人	累計購入冊数	127,442冊
蔵書冊数	198,089冊	※蔵書冊数は、図書資料、AV資料、雑誌の総数	

オ) 研修等の受け入れ実績

①職場体験学習

受け入れ日	摘 要	参加者数
5月14日(火)～16日(木)	八風中学校	4名
5月22日(水)～24日(金)	三滝中学校	3名
5月29日(水)～31日(金)	桜中学校	4名
6月6日(木)・7日(金)	保々中学校	2名
9月18日(水)～20日(金)	菰野中学校	7名
12月3日(火)～5日(木)	西陵中学校	2名

②各種研修・視察

受け入れ日	摘 要	参加人数
8月6日(火)・7日(木)	千種小学校教員社会体験研修	1名

③社会見学・施設見学

受け入れ日	摘 要
5月22日(水)	朝上小学校3年生社会見学
9月26日(木)	千種小学校3年生社会見学
10月8日(火)	竹永小学校3年生社会見学
11月5日(火)	鶴川原小学校3年生社会見学
11月8日(金)	菰野小学校3年生社会見学
2月4日(火)	桜台小学校3年生社会見学

④小中学校図書室巡回

学校図書室名	巡 回	学校図書室名	巡 回
菰野小学校	18回	菰野中学校	19回
鶴川原小学校	20回	八風中学校	19回
竹永小学校	19回		
朝上小学校	20回	小学校 計	95回
千種小学校	18回	中学校 計	38回

⑤学校授業支援

実施日	対象学年	学校名	内容
12月12日(木)	1年生	菰野小学校	ブックトーク
11月26日(火)	4年生	鶺川原小学校	
11月19日(火)・21日(木)	3年生	菰野小学校	味見読書
1月28日(火)	4年生	鶺川原小学校	
1月10日(金)	3年生	菰野小学校	ビブリオバトル
12月11日(水)・12日(木)	5年生		
1月14日(火)	6年生		

⑥図書室オリエンテーション(学校授業支援)

支援日	対象学年	学校名
4月24日(水)~26日(金)	1年生	菰野小学校
5月9日(木)		竹永小学校
5月23日(木)		千種小学校
5月30日(木)		朝上小学校
4月30日(火)	2年生	竹永小学校
5月29日(木)		鶺川原小学校
5月15日(水)	3年生	千種小学校
5月17日(金)		竹永小学校
4月24日(水)・5月29日(水)	4年生	鶺川原小学校
6月4日(火)		菰野小学校
6月7日(金)		朝上小学校
5月10日(金)	5年生	竹永小学校
5月16日(木)・24日(金)		菰野小学校
5月8日(水)・9日(木)	1年生	八風中学校

⑦蔵書点検支援

支援日	学校名
7月24日(水)	朝上小学校
7月25日(木)	菰野小学校
8月20日(火)	菰野中学校

⑧町内施設絵本修理作業

施設名	作業	施設名	作業
菰野こども園	10回	鵜川原こども園	9回
菰野西こども園	4回	竹永保育園	6回
菰野東こども園	4回	朝上こども園	10回

⑨その他

支援日	学校名	内容
8月29日(木)・30日(金) 12月24日(火)/1月24日(金) 3月21日(金)	菰野小学校	図書室レイアウト変更
2月4日(火)	四日市市立桜台小学校	ブックトーク

【評価と今後の方向】

図書資料の収集に努めてきた結果、蔵書冊数は19万8千冊となり、図書開架室の入場者数は開館17年間で延べ474万人を数えた。なお図書開架室に生涯学習室や催事室等を加えた館全体の年間入館者数は36万人を超える。

新型コロナウイルス感染症の影響による入館者数の減少は、昨年5類移行以降徐々に回復傾向にある。

菰野町のDX推進事業として、高齢者、障がい者にも利用がしやすい非来館型の「こもの電子図書館」については2年目を迎えコンテンツ数を635点に増やしている。

「第二次菰野町図書館整備基本計画」に基づき、図書館司書による学校図書館巡回支援を行っており、各種の支援活動を継続する。

図書館司書が学校図書館を巡回することで、担当教諭や地域の図書ボランティアとの連携として『こもりぶサポーター』の協力を得ている。今後も図書室の環境整備や児童生徒の読書関心を高めるブックトークなど読書支援を継続する。

小学6年生のみの『子ども司書』に加え、元子ども司書で現在は中高生の生徒による『リトルライブラリアン』を組織化し、大人が読ませたい本ではなく自分たちが友達に教えた本の見方から情報提供やイベントの協力等、運営面の関わりも継続する。

休館は毎週月曜日と第4火曜日、年末年始、蔵書点検期間を休館日としているが祝日と重なる月曜日は開館している。また、北部子育て支援センター窓口での図書貸出申し込みや返却本の受け取りは図書館遠隔地における図書館サービスとして継続して行い、利用につなげる。

引き続き図書資料の充実に努めるとともに、生涯学習拠点機能を活かした利用しやすい施設の運営に努める。

IV 評価者の意見

1 教育委員会の運営

- ・令和6年度の教育費が一般会計全体の10%を超えている。教育費が全体の10%を確保できているかどうか、教育の水準を示す一つのバロメーターであると言われていたので、今後も引き続き、教育予算の確保に努めていただきたい。

2 学校教育事業

- ・「全国学力・学習状況調査」では、小学校で全教科が全国平均よりも高いということで、着実に学力が伸びてきている。中学校では年度によって成績のバラつきがあるため、安定したものとなるよう、引き続き取り組んでほしい。
- ・小学校の不登校児童数が増えており、大きな課題である。今の世の中、何か嫌なことがあったら“学校に行かなくていい”“無理して行かなくていい”という風潮も少なからずあり、こうした中では不登校は増えてしまうのは当然である。子どもたちが学校に気持ち良く行くためには、「レジリエンス教育」を通した個々の生き抜く力、乗り越えていける力を養うことや、自分の価値や存在を認める「自己肯定感」を養うことが大事だと考えるので、今後も力を入れていく必要がある。
- ・菰野町はこれまでスポーツ競技で優秀な成績を収めている選手を輩出してきている。部活動の地域移行については、全国的に見て先進的ということで、引き続き次世代の選手育成のため進めてほしい。

3 社会教育・図書館事業

- ・体育館の雨漏りや床の痛みなど、スポーツ施設の老朽化が目に見えてきている状況である。利用者に何かあってからでは遅いので、予算を確保し対処していただきたい。
- ・プロの音楽家の演奏に触れられる機会は、とても貴重な機会と感じる。特定の楽器だけでなく、様々な楽器に町民が触れられるような機会にしてほしい。
- ・図書館へは本を読みに来ている方もいれば、クーリングシェルターとして利用されている方もいる。図書館が建て年数を重ねてきていることから、そうした役割を維持できるよう、空調をはじめ引き続き整備等対応してもらいたい。また、熱中症など体調を崩した方への対応については、研修を受けるなど職員が対応できるような体制づくりも必要である。
- ・本を読む子と読まない子のはっきりしてきていると感じる。本を読むことで読解力が身につく、国語だけではなくそれ以外の教科でも学力向上に繋がる可能性もある。本離れを防ぐためにも、子ども達が図書館に来る機会、そして本を読む機会が増えるような施策に、今後も取り組んでいただきたい。